

横浜での憲法記念日に

2015年5月3日(日)の憲法記念日には、港南台に住む私たちは、「港南台9条の会」の幟のもとに、JR 桜木町駅に集合して、みなとみらい地区の臨海パークまで歩いて行きました。今年の憲法集会は我が地元で行われるので、横浜の人にはとても参加しやすかったのですが、果たして東京の人たちはどうでしょうか。

臨海パークは、横浜港に面し、ベイブリッジを遥かに眺める、広々とした公園です。港南台9条の会の皆さまはステージまじかに敷物を敷いて座りました。あちらこちらから人々が集まってきました。風は心地よいものの、陽がさんさんと照るので、私たち二人は、ステージから遠く離れた櫟の木陰に入って座りました。夫がお弁当を買いに行っている間に、どんどん会場が埋め尽くされてきて、夫のスペースを確保するために、短い私の足を出来るだけ伸ばしておきましたが、始まる前には隙間がないほどでした。私の後ろに座った人は東京から来ていたようでした。

開会前にステージでは和太鼓、カンカラ三線・唄、歌が演奏されました。やがて、この集会の呼びかけ人のスピーチが始まりました。そのうち一部ですが、心に響いた一言を記します。



- 大江健三郎氏 ギンター・グラスと対談した時、「ぼんやりしていると又戦争になる。今度は核戦争だろう」と言われた言葉が忘れられない。ぼんやりなんかしてられない。
- 澤地久枝氏 「平和」という言葉を、「積極的平和」などと言って、安倍首相が最も汚いイメージにしてしまった。
- 樋口陽一氏 親友の菅原文太が「飢えさせない、安全な食べ物を供給する、絶対に戦争をしない国に」と願って遺言した。
- 山本太郎氏 憲法12条に「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。」とある。ボクも不断の努力をするよ！
- 香山リカ氏 人の気持ちはその時々で変わるもの。けれども平和を願う気持ちだけは変わらない気持ち。憲法を十分使い切ってみよう。
- 落合恵子氏 失望し、憤っているけれど、「絶望から、希望へ」の思いは強い。人権とは、「誰にも私の足を踏ませない」という、単純なこと。
- 高里鈴代氏 9条を持つ日本にやっと復帰したのに。いつまで私たち沖縄に犠牲を強いるのか。沖縄は反対しているのに、安倍はアメリカに辺野古が唯一の解決策と言うとは。風に干切られながらも、スピーカーから聞こえる声を熱心に聞き、皆、同じ気持ちになって、拍手しました。ステージから離れていて、どなたのお顔も見えなかったけれども、何とかカメラに収めました。